

代表理事の紹介

廣瀬 秀行

博士（工学）、理学療法士

昭和 29 年 3 月 24 日生まれ

hirose@wheelchair-seating.or.jp

概略

- 国立障害者リハビリテーションセンター病院でのシーティングクリニックでの臨床経験
- NPO 日本車椅子シーティング・コンサルタント協会での車椅子シーティングの普及教育
- ISO（国際標準化機構）での ISO16840(Wheelchair Seating)と ISO7176(車椅子)や厚生労働省座位保持装置基準、JIS 車椅子など標準化
- International Seating Symposium での研究発表、JRRD（米国リハ科学雑誌）での研究論文発表

趣味

ハンググライダー（大学）⇒マラソン（膝が痛くなり＝前十字靭帯損傷）⇒テニス（テニス肘を起こし）、そして現在、ゴルフ（ただし、ばね指で、左小指炎症中）、犬の散歩、家内との旅行

職歴

一般財団法人日本車椅子シーティング財団 代表理事 2016/2 より
厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室 室長補佐、福祉工学専門官 2013-2015
福祉機器開発の管理運営とその専門的助言
国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部高齢障害者福祉機器研究室
高齢障害者福祉機器研究室長←同研究員 1987-2014
Wheelchair seatingに関する基礎研究や ISO16840 and 7176 対応
国立障害者リハビリテーションセンター病院シーティングクリニック 2000-2014
病院理学療法士、研究所義肢装具士と共同で、脊髄損傷者の褥瘡予防や座位保持装置の作成、電動車椅子の作成や訓練など実施。
千葉大学病院、国立療養所東埼玉病院で急性期や筋ジストロフィー症に対する理学療法従事

教育

芝浦工業大学 博士（工学） 2008
座位保持装置を使用しているときの障害児者や高齢者の座位姿勢、特に体幹部に対して、胸骨線と腹部線を提案し、その妥当性を示し、座位保持装置や車椅子開発に対する評価軸を提案。
日本大学大学院理工学研究科修士課程精密機械工学専攻修了 1990
車椅子クッションの負荷時の沈みこみ形状を測定し、クッションの特性を明らかにした。
東京理科大学工学部機械工学科卒業（工学士） 1978
専門学校社会技術学院理学療法学科修了 1982

資格および学会関連

理学療法士修得

1982

日本褥瘡学会理事

2007-2014

褥瘡予防・管理ガイドライン策定委員会に参加し、車椅子を使用する脊髄損傷者や高齢者の車椅子シーティングに関するEBM策定を行う。詳細は医療情報サービスMinds（マインズ）の褥瘡（日本褥瘡学会）を参照してください。

過去に、日本シーティング・コンサルタント協会副理事長、日本リハビリテーション工学協会理事、バイオメカニズム学会理事及び第34回バイオメカニズム学術講演会大会長など歴任

代表的海外研究論文（国内は多数のため省略、この二つの論文はwwwからdownloadできます）

1) Hirose H: Development of clinical methods for measuring geometric alignment of the thoracic and lumbar spines of wheelchair-seated persons, Journal of Rehabilitation Research & Development, 42(4), p. 437-446, 2005

座位姿勢計測時の胸骨線および腹部線の提案と妥当性を示し、ISO16840-1に採用された。

2) Ferguson-Pell M, Hirose H, Nicholson G, Call E: Thermodynamic rigid cushion loading indenter: A buttock-shaped temperature and humidity measurement system for cushioning surfaces under anatomical compression conditions, Journal of Rehabilitation Research & Development, 46(7), p. 945-956, 2010

ISO16840-7の車椅子クッションの湿度蒸散機能試験の提案と再現性を示した。

日本語での著書

3) 廣瀬秀行, 木之瀬隆: 高齢者のシーティング, 三輪書店

運動学、生体力学、そして褥瘡などを基本として、高齢者や障害児者の関節可動域を含む運動機能や座位能力、そして日常生活などを評価し、そこから車椅子や座位保持装置、車椅子クッションの選択・製作に結びつけた。

4) 廣瀬秀行、清宮清美監修: 障害者のシーティング, 三輪書店

車椅子シーティングを障害者に適合・実践している専門家による実践・解説。

5) 廣瀬秀行: 課題別・理学療法技術ガイド「課題をどうとらえ、いかに実践するか」4. 脊髄損傷/四肢麻痺 患者教育をいかにこなうかー皮膚管理・褥瘡管理・予防を含めて褥瘡発症危険因子から分析一, 編集主幹: 嶋田智明, 文光堂, p. 323-332, 2008

脊髄損傷者・二分脊椎症者の褥瘡発生の性質とその予防について記述。

など多数。